學穂 (ほがく)

令和８年度 広州日本人学校
学校だより No.9
令和８年 10 月 30 日
発行責任者 校長　大久 耕

JSG 運動会「切磋琢磨～拓け勝利の扉を～」



10 月 24 日（土）に第 32 回 JSG 運動会を開催いたしました。今年度は，「切磋琢磨～拓け勝利の扉を～」のテーマの下，児童生徒一人一人が目標をもって練習に取り組みました。当日は，その成果を十分に発揮できたものと感じています。

練習中は，「家族に頑張る姿を見てもらいたい」という声も多数聞かれてきました。ご家庭の皆様が子供たちに励ましの言葉をかけていただいていたこと，体調管理に気を使っていただいたこと，ゼッケンの準備など，多く協力をしていただいていることを，子供たちも感じ取っていたのでしょう。「JSG 運動会は，学校に関わる人たち全員で作り上げるもの」ということを強く感じました。

また，当日の暑さ対策として導入した冷風機（スポットクーラー）の設置にあたりましては，株式会社スイデン（東莞瑞電電器有限公司）様にご協力をいただきました。

改めまして，ご家族の皆様，ご来賓の皆様，PTA 役員，親父の会など関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。








児童生徒会 スローガンフラッグ披露

10 月 13 日（火）のほーやん集会で，今年度の児童生徒会スローガン「拓く ～新しい挑戦で未来の JSG のあたりまえを今作ろう～」のスローガンフラッグが披露されました。

7 月にデザインを募集し，多くの応募者の中から 4 年生の OR さんの作品が選ばれました。学習を表すさまざまなイラストとともに，ほーやんがタイムマシンに乗り，JSG の未来へと向かう姿が描かれています。

体育館に掲示してありますので，来校の際にはぜひご覧ください。



上海日本人学校高等部説明会



10 月 28 日（水）に，上海日本人学校高等部の保護者向け説明会を実施いたしました。奥野教頭先生にご来校いただき，教育課程や学校行事，進学，授業料についてなど，学校のホームページやパンフレットだけでは知ることのできないことを詳しくお話をいただきました。

また，説明会に先立って小学部 6 年生にキャリア教育の授業もしていただきました。

上海校・高等部は，「世界で唯一の日本人学校高等部」として 2011 年の開校以来，多くの子供たちを受け入れてきました。世界中の日本人学校で学ぶ子供たちの約 30%は，中国国内（台湾・香港を含む）の日本人学校に在籍しており，上海校・高等部があることで長期にわたる見通しをもって中国生活を送ることができるといった意味で，大きな役割を果たしています。

児童生徒の進路に関わる選択肢を広げられるよう，これからもこういった機会を設けていきたいと思います。

学校長日記　～珠海日本人補習校訪問～

広州日本人学校は，今年度開校（1995 年 4 月）から 32 年目を迎えていますが，その前身は，1982 年 10 月に開校した広州補習授業校です。

補習授業校（補習校）は，多くの国・地域に設置されており，2025 年現在 118 校が文科省の認可を受けています。日本人学校と併置されていて，共通の校舎を使用している学校もあれば，日本人学校がない地域（圧倒的にこちらが多い）にある学校もあります。

平日はインターナショナルスクールや現地校に通っている子どもたちが，土曜日（または日曜日）に国語と算数・数学の学習を中心に学習をしています。広東省には，珠海市と深圳市の 2 校があります。

先日，珠海補習校を訪問しました。学校は，市内の日系企業の会議室を借りています。珠海補習校は，今年度在籍数が 5 名となっており，小学生が上学年と下学年に分かれて複式で授業をしています。在籍数が少ない学校には，日本からの教員派遣がなく，日系企業に勤める方やその家族，または在籍地に住む日本人の方が“先生”となって授業を進めています。

それぞれが普段は違う学校に通っているため，土曜日は日本人の友達に会える貴重な時間でもあるそうです。日本の子供たちと触れ合う機会を増やしたいという気持ちは，子供たちも保護者の方々も強くもっているようです。



同じ中国で学ぶ子供たちのために，本校の子供たちと交流する機会を持てないだろうか。そんなことを考えさせられる 1 日でした。

※ 昨年度は，5 年生の校外学習に 2 名の児童が参加しました。